

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
北海道障がい者就労支援センター

就労支援業務事業評価書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成27年7月

指定法人事業評価委員会

■ 評価の基本的な考え方

指定法人事業評価委員会は、北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例（平成21年北海道条例第50号）第31条第8項の規定に基づき、社会福祉法人 北海道社会福祉協議会（北海道障がい者就労支援センター）の平成26年度における障がい者就労支援業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、北海道が示した、指定法人要求水準書に定めた事業ごとに、その実績を記載した就労支援業務事業報告書及び法人からの聴取を基に評価委員の全体協議により「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

指定法人要求水準書に掲げる事業ごとに、平成26年度の事業計画の達成状況について、4段階により評価する。

A: 計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。

B: 計画に基づき適正に実施されている。

C: 計画に対し、やや不十分な内容である。

D: 計画に基づき実施されておらず、重大な改善事項がある。

※C及びD評価の場合は、指摘及び改善事項等について、意見を付すものとする。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえて、平成26年度における事業実績の全体について、上記により4段階評価する。

■ 指定法人事業評価委員会委員

分野	所属・役職	氏名	備考
学識者	北翔大学生涯スポーツ学部 教授	梶 晴 美	委員長
保健福祉関係者	くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援 センター ぷれん センター長	高 谷 さふみ	委員

■ 指定法人事業評価委員会開催

開催日時 平成27年7月13日(月)14:00～16:30

開催場所 道庁9階 職員監会議室

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
全 体 評 価			
<p>授産事業所における収益力の向上等を図るため、第3期障がい者就労支援推進計画に基づき、授産事業の経営力向上や受注拡大等に向けた支援の取組を行う。</p>	<p>経営相談及び商品評価の実施件数は少ないが、授産事業所のニーズに応えた指導・研修を実施し、事業所間の連携や授産製品の販路拡大に努めた。</p>	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>事業実施後の調査・分析や結果の公表が不十分であるため、授産事業所に対する事業内容の周知拡大に至っていない。 今後は、事業内容・効果の公表や、さらに事業を強化するための工夫が必要。</p>
I 工賃向上計画の策定・推進事業			
<p>応援プランに基づく「工賃向上計画」策定事業所等に対し、専門家等を派遣し、経営相談・技術指導等を実施。</p> <p>■ 個別経営相談 経営の専門家である中小企業診断士による「工賃向上計画」に関する個別経営相談を実施することにより、授産事業所における計画の適切な推進とそれによる工賃の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所に配慮した実施方法(地域・時期等) ★ 経営等に関し十分な知識を有するコンサルタントの選任</p>	<p>① <個別経営相談(集合)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施 1回 ・ 内容 中小企業診断士による「工賃向上計画」策定の推進、計画達成のための経営改善等の指導 ・ 相談件数 1施設1件 <p><個別経営相談(派遣)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施 1施設(派遣回数1回) ・ 内容 中小企業診断士による指導・助言 <p>利用件数が1件にとどまった要因としては、平成26年度相談料を1施設につき15,000円徴収したことがあげられるが、後掲IVマッチングサポート事業において配置されている専門コーディネーターが受ける日々の相談の中に、経営に関する相談が含まれており、それらに恒常的に対応している。</p> <p>1例を挙げれば、立ち上げたばかりの事業所の、製品の販売場所や方法が全く分からず売上げが低迷しているという相談に対し、販売場所を紹介し且つ、自ら販売活動に力を入れている他事業所につなげてそのノウハウを紹介した。その後、事業所は、自ら販売会へ参加する等積極的に活動するようになった。</p> <p>【個別経営相談(派遣)の詳細は別添資料1のとおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工賃倍増集中対策事業で活動実績のある中小企業診断士による、個別経営相談を実施した。 	C	<p>※計画に対し、やや不十分な内容である。</p> <p>相談料を徴収したことで、相談件数が大幅に減少している。マッチング事業での個別相談を含めて、相談後のモニタリングを充実させるとともに、相談の内容や相談による効果等を公表し、他事業所の相談依頼に結びつけることが必要。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■経営・技術指導 企業経営に関する基礎知識や製造技術等の専門技術等に関する講習等の実施により、授産事業所における企業経営的ノウハウの導入及び職員の資質の向上を図る。</p> <p>【要求水準】</p> <p>★授産事業所のニーズを踏まえた内容設定 ★企業経営的ノウハウの導入、職員の資質向上(営業力向上等)に向けた効果的な取組</p>	<p>1 事業所経営セミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき 平成27年3月10日(火)～11日(水) ・ ところ 札幌市／北海道自治労会館 ・ 参加者 75名 ・ 内容 ・ 報告:全国社会就労センター協議会 会長 阿由葉 寛氏 ・ 講義1「障がい者就労支援事業所に求められる労務管理について」 講師:宮島社会保険事務所 社会保険労務士 宮島 康之氏 ・ 講義2「北海道授産製品磨き上げ支援事業について」 講師:株式会社感動いちば 専務取締役 吉原 亘氏 ・ 特別行政報告「障害者福祉施策の動向と報酬改定について」 報告:厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐 平川 雅浩氏 	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>内容や実施方法に工夫が見られ、授産事業所に対する取組として高く評価できる。 さらなる工夫により参加者の増加を図ること。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 授産事業所に関するアイデア募集</p> <p>授産事業所職員や一般道民などから、授産事業に関するアイデアを募集し、その内容について実現の可能性等を検討するなどして、事業の改善や新たな取り組みにつなげる。</p> <p>【要求水準】</p> <p>★ 寄せられたアイデアは、客観的に分析・検討を行い、実現性のある取組について、有効かつ効果的に活用される内容である。</p>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングコーディネート業務、スタッフ業務の中で、企業や関係者等からアイデアや提案を聴取した。 <p>実施できるアイデアは少ないのが実情だが、H26年度のアイデアからは「しじみの殻むき」が新規作業として実現。</p> <p>残念ながら実施に至らなかったアイデアとしては、年金機構から提案の駐車場誘導の業務、ケーキを製造する作業所から提案されたドライフラワーを作る作業所と共同した新製品開発等があった。前者については駐車場誘導・管理に対応できる人材が不足していたことから実施に至らず、後者についてはドライフラワーを通年で安定して供給することが困難なことから実現に至らなかった。</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
II 授産事業所間の連携・共同化			
<p>■ 授産事業所間連携・共同化 授産事業所間による事業の連携・共同化の促進を図るとともに、連携・共同化に向けたアドバイス等を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 十分な知識を有するアドバイザーの選任 ★ 授産事業所のニーズを踏まえた実施内容</p>	<p>1 実態の把握</p> <p>① 販路開拓事業地域スタッフによる訪問・聴き取り調査等により授産事業所等の事業内容・商品等について、実態の把握を行った。</p> <p>② 把握した実態をもとにマッチング事業コーディネーター(中小企業診断士)によるアドバイス等助言及び支援共同化の可能性のある授産事業所について検討を行った。</p> <p>結果:上記を通して共同化を調整し函館遊技協同組合協同組合加盟ホール57店舗から授産製品詰め合せ受注に至った。 なお、詰め合わせ作業は、NPO法人日本障害者・高齢者生活支援センターにて行い、製品提供は道内授産施設が実施。</p> <p>2 経営コンサルタントの選任 マッチング事業で実績のあるコーディネーター(中小企業診断士:大泉浩一氏)を選任し、共同化の可能性のある事業所同市の照会・斡旋を行い、製品の受注へつなげた。 ※詳細マッチング事業で記載</p> <p>3 授産事業所連携調整 ※マッチング事業で記載</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、 特筆すべき内容である。</p> <p>複数の事業所を共同化し、具体的な受注に結びつけたところは高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
Ⅲ 市場調査・商品開発事業			
<p>魅力ある製品づくりと質の高いサービスの提供を行うため、市場調査及び商品開発に関する取組を実施</p> <p>■ ニーズ調査及び商品評価 企業等のニーズ把握と商品評価により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所の意向等を踏まえるとともに、効率的かつ効果的な取組であり、成果品（データ）の有効活用が図られること</p>	<p>1 専門家の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施 1施設（派遣回数3回） ・ 内容 中小企業診断士による製品評価・地域のニーズ評価・新製品作成の指導・助言（パンの製造） <p>総括：コスト意識の欠如を指摘し、「ふすまパン」の価格設定見直し及びパッケージ改善を実施。また、「栗の木ブラングラノール」の開発改良を行い、同時に新規販売ルート開拓に係る一連の作業の確認を行った。一連の助言の結果コスト意識が醸成された。 【別添資料3のとおり】</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>個別経営相談と同様に相談料の徴収が利用者の減少に繋がっている。 商品の開発に至ったことは評価できるが、件数の減少についての対策が必要。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■商品開発に関する研修 企業担当者等による商品開発に関する実践的研修により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所ニーズを踏まえたテーマ等の設定 ★ 十分な知識を有する者を講師に選任</p>	<p>1 安全・安心な製品づくりへのスキルアップ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき 平成27年1月13日(火) ・ ところ 札幌市／かでの2.7 ・ 参加者 116名 ・ 内容 「景品表示・食品表示法とQ&Aを中心に」 ・ 講師 株式会社消費者経済研究所 高田 かおり 氏 【別添資料4のとおり】 	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>法改正に対応した研修を実施しており、授産事業所のニーズに 応えているところは高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>IV マッチングサポート事業</p> <p>授産事業所の製品・サービスの受注拡大を図るため、授産事業所と企業等とのビジネスマッチングに関するサポートを行う。</p> <p>■ マッチング事業〔共同受注システム〕</p> <p>授産事業所の製品やサービスの販路の確保・拡大を図るため、企業等が発注する仕事と授産事業所のインターネット上のマッチングの場を設けるとともに、専門コーディネーターによる受発注のコーディネートを行うほか、複数事業所による企業の発注ニーズに対する作業量及び作業工程の分担受注等の調整を行う。</p> <p>・共同受注システムの運営 ・専門コーディネーターの配置 ・授産製品、サービスのPR ・事業の周知</p> <p>【要求水準】</p> <p>★ 経営、マーケティング等に関し、十分な知識等を有するコーディネーターの配置</p> <p>★ コーディネーター等による積極的な新規企業の開拓</p> <p>★ 利用者の利便性を考慮するとともに、アクセス数増が期待できる魅力あるホームページ(共同受注システム)の構築・運営</p> <p>★ 授産事業所の連携・共同化に向けた実現性ある取組</p> <p>★ 共同受注システムへの授産事業所の登録拡大に向けた効果的な取組</p> <p>★ マッチング事業及び授産事業所の製品・サービスの認知度向上が期待できる効果的かつ効率的な事業のPR方法</p>	<p>1 ナイスハートネット北海道の運営</p> <p>① 登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本情報登録: 792施設 登録対象: 970施設(81.6%) (H27.3月末現在) <p>② 登録・更新の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会などでチラシの配布を行った <p>③ ホームページの更新・事例紹介・ページの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> おすすめ製品を紹介するコーナーを作成・更新を行った。 <p>④ ナイスハートネット全国版及び都府県版の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度より、全国版、岐阜版、沖縄版の運用開始。 <p>[26年度]</p> <p>1 専門コーディネーターの配置及び活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> マッチング事業(H20.10～現在)コーディネーターで実績のある中小企業診断士(大泉浩一 氏)を委嘱。 札幌に地域スタッフを2名配置した。 <p>2 活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 授産事業所と企業とのマッチングコーディネート マッチングシステムの紹介(企業へ) 受注に当たっての、授産事業所へのアドバイス 製品開発・改良へのアドバイス、専門家の紹介 <p>・ マッチング実績 平成26年度 商談成立96件 【別添資料2のとおり】</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>マッチングの件数は減少しているが、インターネットを利用した全国的な発注の受付は、新たな取組として評価できる。 地域スタッフの削減や登録事業所の管理については、改善が必要である。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>1 「ナイスハートネット北海道」による紹介 ・ 商品登録施設事業所数: 388件</p> <p>2 本会広報誌「明るい社会」による紹介 ・ 毎号ともコーナー「きらきらマルシェ」を設け3事業所の製品を紹介。毎号1製品を読者プレゼントとするよう調整した。 【別添資料5のとおり】</p> <p>3 授産製品販売会等への出店・販売等 ① 出展販売: 催事14回、売上(3,009千円) ② 出店調整: イトーヨーカ堂アリオ札幌店における「2014授産製品inアリオ」への出店者の調整を行った。 ③ 委託販売: 催事7回(社協夏祭り等)、売上げ(331千円) ④ 受注販売: 14回(道社協内の販売、広報誌読者プレゼント) ⑤ 常設販売: 納品調整・売上額の送金事務 ・ 赤れんがストア(株)小六 H22年6月～。H26年度395千円) ・ クスリのツルハ H23年8月～H27年3月(2,903千円)</p> <p>4 パネル展開催への協力 ・ 障がい者授産施設・共同作業所パネル展示会(H26.8/25～27) ・ いきいき福祉・健康フェア(H26.10/17-19)</p> <p>5 授産製品のチラシ、パンフレットの活用 ・ 各種研修会でチラシパンフレットを配布した 【別添資料6のとおり】</p> <p>6 授産製品販売支援 ① セイコーマートポイントカード交換用景品への紹介 ・ 新商品提案: 11事業所 31品 採用:6品目 ② 赤れんが売店への商品提案 ・ 採用:2事業所 6商品</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>1 ホームページによる事業紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センターホームページの運営・更新を行った。 更新回数21回(イベント周知、販路拡大に係るお知らせなど) <p>3 必要に応じた社会福祉関係会議における周知依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイスハートネット北海道パンフレット増刷・研修会で配布した 増刷部数:1,000部 配布先:研修会での配布、各事業所、関係団体、 マッチング商談企業等へ配布 ・ 福祉関係者向け広報誌「明るい社会」(発行 道社協 年4回) に毎号ナイスハートネットの紹介を掲載、各種会議で配付 (5月、8月、11月、3月 年間4号) 【別添資料5のとおり※再掲】 <p>4 市町村向け優先調達推進法メールマガジンの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度 2回配信(備蓄用パン、除雪作業) 		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■多様な販路の確保 授産事業所の製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、経済団体や企業等が主催する商談会やイベント販売等への参加。 また、商談会における商品提案力等の向上を図るための研修会等を実施。</p> <p>【要求水準】 ★バイヤー等の参加がより多く見込まれるもの ★出店授産事業所及び商品の選定方法は客観的で合理的な理由があること</p>	<p>1 授産施設・事業所向け商談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき 平成27年2月16日(月) ・ ところ 旭川市／上川総合振興局 ・ 参加者 6事業所(9名) ・ 内容 説明「コープさっぽろご当地ドック事業の概要について」 商談「商品取引に向けた商談について」サンプル品の評価 意見交換会 ・ 講師:株式会社エフエム通商 石野 弘子 氏 【別添資料7のとおり】 	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
V 企業認証制度及アクション普及・啓発事業			
<p>企業等による障がい者就労支援に対する理解と取組を促進するため、企業認証制度及びアクションの普及・啓発を行う。</p> <p>■ 企業認証制度及びアクション 障がい者就労支援企業認証制度及び北海道障がい者就労支援プログラム「アクション」の登録件数拡大に向け、登録申請受付及び審査並びに普及・啓発活動を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 申請受付・審査事務の適切・迅速な処理 ★ 認証・登録企業の公表内容・手段等が効果的であること ★ 平成26年度末までに認証企業数200件、アクション登録1,000件の目標達成に向けた効果的な制度のPR方法であること</p>	<p>1 申請受付件数 〔アクション〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業サポーター 1件(24年度)、4件(25年度)、1件(26年度) ・ 市町村サポーター0件(24年度から) <p>2 普及・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ(ナイスハートネット北海道、北海道就労支援推進センター)での紹介 	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p>